

尾神岳 (中頸・吉川町)

■環 境：山地、森林
 ■対 象：一般
 ■期 間：5月上旬
 6月下旬

柿崎町と吉川町、柏崎市の境にある標高757m、独特な台形状の形をした山。パラグライダーのメッカとして知られ、県内外から多くの人々が集まる。東側斜面に約80haほどのブナ林が広がり、森林の鳥類の生息地になっている。

<里山のブナ林>

尾神岳は「岳」と呼ぶには少し低い標高797mの里山でパラグライダーのメッカとして知られているが、その裏側の斜面に約80haほどのブナ林が広がっていることはあまり知られていない。ブナ林は樹齢40~70年ほどで、一度伐採された後に生えてきた林と思われる、木はやや細いものの、この近辺では珍しくまとまった林となっている。ブナ林の下側を林道が横切るように通

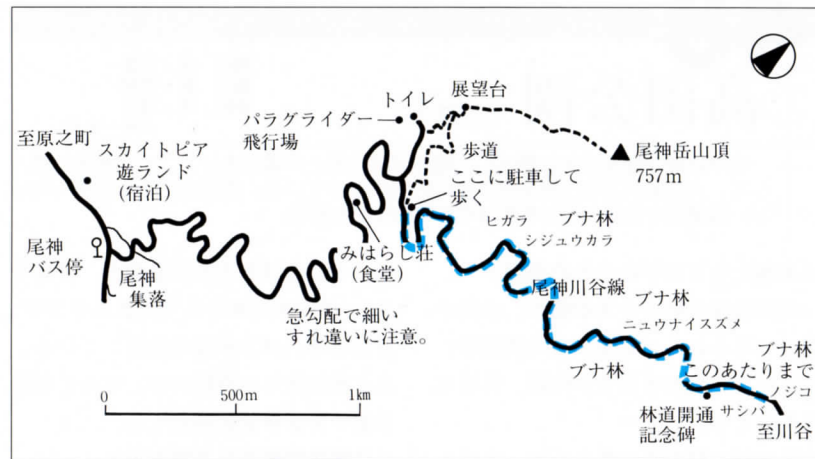
っている。ここではそのコースを紹介する。

<ブナ林の鳥たち>

パラグライダー基地側から林道を進んでいくと、林道はいくつものカーブを繰り返しながら、緩やかに下っていく。耳を澄ますとブナのこずえからはシジュウカラ、イカル、ニュウナイスズメ、ときにはヒガラ、コガラの声、谷側からはミソサザイ、コルリ、ヤブサメの声が聞こえてくる。また沢筋の



尾神岳遠景



木の頂でさえずるオオルリ、新緑のブナ林の中から聞こえてくるキビタキはこの林の鳥たちの代表格であろう。さらにクロツグミ、ホトトギス、ツツドリと、ここでは十分にブナ林の鳥たちの声を楽しむことができる。やがて林道の開通記念碑が見え、谷側が低木を中心とした開けた環境になるとホオジロ、サシバ、ノジコと頸城地方の里山の鳥たちを目にすることができる。

間もなく山側のブナ林も見られなくなり、約2kmほどの探鳥コースも終わりとなる。

<林道の状況>

このコースは日の当たらない沢筋が多いため雪解けが遅く、5月上旬になりパラグライダー基地側が雪が解けていても車が入れないことがしばしばある。ブナ林の中のキビタキなど夏鳥の

姿を見るなら5月上旬~中旬がお勧めである。長靴など雪に適した足回りを準備しよう。またパラグライダー基地側の斜面でも5月中旬ころの渡りの時期にはハチクマ、ハイタカなどの猛禽類も現れる。鮮やかなパラグライダーばかりに目を奪われないようご用心。

(末崎 朗)

—メモ—

交通 JR 柿崎駅下車。山直海線バス50分「尾神」下車。徒歩1時間半。
 回 図で示した展望台を過ぎた所に駐車可。

探鳥会 特にない。

注意事項 尾神地区からキャンプ場に至る道はパラグライダーをする人々が往復するため、狭くて急カーブが多いわりに交通量は多い。すれ違いに十分注意。